

# Adobe Creative Cloudをはじめクラウドサービスの膨大な認証作業の負担を軽減 自治体をガラパゴス化させないローカルブレイクアウトに貢献する A10 Thunder CFW

## 顧客名：

輪島市

## 業種：

自治体

## A10のソリューション：

A10 Thunder CFWによるローカルブレイクアウト

## 課題：

- Adobe Creative CloudやMicrosoft 365の認証作業に膨大な負担
- クラウドサービスを最大限活用するためのローカルブレイクアウト環境を希望
- SSLの復号やMicrosoft 365ドメインへの自動追従などが必要

## 導入効果：

- 応援職員含む500名以上の職員に対応するローカルブレイクアウト環境を整備
- 自治体の環境をガラパゴス化させない仕組みづくりに大きく貢献
- 被災時のバックアップとして、復興支援の重要なインフラ活用を加速



### 輪島市

企画振興部 復興推進課 デジタル化推進室  
主幹 兼 デジタル化推進係長 山吹 允氏

“自治体の環境をガラパゴス化させず、社会の一部として機能し続けるための環境を整えたい。

持続可能な環境整備にA10 Thunder CFWが役立ってくれるはず”

企画振興部 復興推進課 デジタル化推進室 主幹 兼 デジタル化推進係長 山吹 允氏



能登半島北部に位置する輪島市では、広報や観光向けの動画制作や冊子デザインに活用するAdobeソリューション、全庁的に展開予定のMicrosoft 365など、クラウドサービスの認証を柔軟に行える環境整備を進めています。自治体の三層分離においてもクラウドアクセスを円滑にするため、ローカルブレイクアウト環境を整備。震災復興にも貢献が期待される基盤として、A10 ネットワークス（以下、A10）が提供する「A10 Thunder® CFW」を採用しました。

## 課題：手間と時間のかかるインターネット越しの認証、業務負担の軽減を目指す

能登半島の北西部に位置し、四季折々の自然や天然フグなど美味しい産品、輪島塗といった伝統が息づく地域として、多くの人に親しまれている石川県輪島市。2024年に発生した能登半島地震や集中豪雨による甚大な被害を受けながらも、「もとよりもっと新・輪島」のスローガンをかけ、復興に向けて着実に歩みを進めています。市政では、子どもを産み育てなくなる社会の実現を目指し、2023年にベビーファースト宣言を行うなど、さまざまな子育て支援施策を推進しており、移住・定住の促進事業にも積極的に取り組んでいます。

こうした中、総務省の自治体DX推進計画に基づき、デジタル化を強力に推し進めているのが企画振興部復興推進課 デジタル化推進室です。石川県内の全区長が参加する推進会議に加わり、県と歩調を合わせながらDX推進に取り組んでいます。2022年には、デジタル化を通じた市民サービスの質的向上と行政事務の効率化を図るとともに、SDGsが掲げる社会の実現に向けて「輪島市DX推進計画」を策定。“安全・安心・快適なまちづくり”と、“市民と行政の協働によるまちづくり”を基本方針として、DXを強力に推し進めています。「特に住民向けには、市役所に来なくともよい、待たなくともよいというコンセプトで、ユーザーフレンドリーな環境整備を進めています。具体的には、多くの住民が利用するLINEを活用した行政手続きのオンライン化事業などに取り組んでいます」と同室 主幹 兼 デジタル化推進係長 山吹 允氏は説明します。

そんな輪島市が以前から課題としていたのは、クラウドサービスを前提としたビジネスアプリケーションの認証に多くの手間がかかっていたことでした。「クローズな環境で運用していたMicrosoft Officeはアップデートがうまく行われないケースがあり、バージョンがバラバラという状況でした。1年ごとの認証時には、端末を個別にインターネット接続環境に移動させて認証を行い、元の環境に戻す作業が必要で、非常に手間がかかっていました。動画やチラシ制作に利用していたAdobeソリューションも、ローカルで認証する環境はあったものの、毎年2週間ほどの時間を要するなど、認証作業の負担は大きなものでした」と山吹氏は当時を振り返ります。

また、LINEを利用した行政手続きの申請管理にはSalesforceが利用されており、セキュアブラウザでアクセスしたうえで、申請時の添付書類をLGWAN系端末に持ち込まざるを得ない状況でした。「個人情報を含む書類だけに、できれば情報が分散しないようSalesforce内で直接扱えるようにするべきです。LGWAN端末でも、特定通信などでインターネットアクセスできる環境が必要だと議論されおり、こちらについてもブレイクアウトを検討中です」と山吹氏は語ります。

## 検証：LGWAN 端末からでもクラウド利用が可能なローカルブレイクアウト、実績十分なA10 Thunder CFW

そんな折、三層分離のαモデルで運用している庁舎内のインターネット環境が更改時期を迎え、従来の課題となっていた業務環境を統一し、安全に運用できる環境づくりに取り組むことになりました。そこで、インターネット環境で行う認証作業も含め、LGWAN側の端末で柔軟にローカルブレイクアウトできる環境が求められました。

具体的には、Microsoft 365など頻繁にIPアドレスが変更されるクラウドサービスに対して、自動追従できる環境が必要でした。さらに、SSLの復号など具体的な入札要件を設定し、将来的に利活用が進むクラウドサービスへの柔軟な対応が可能な環境づくりを目指しました。

応じた企業が提案に盛り込んだのは、クラウドサービスをローカルブレイクアウトする基盤となるA10 Thunder CFWでした。「自治体での事例を調べると、正直A10しか出てこないほどで、実績として十分評価できました。応札企業に他ソリューションの可能性も確認しましたが、最終的に実績のあるA10でないと不安が残るため、A10一択だと太鼓判を押されたのです」と山吹氏。さらに、輪島市ではGIGAスクール構想の環境整備において、A10を利用したローカルブレイクアウトをすでに実施しており、市としての実績も十分でした。

結果として要件を満たし、コストパフォーマンスにも優れたA10 Thunder CFWが、輪島市のローカルブレイクアウト環境の基盤として選択されました。

## ソリューション：ローカルブレイクアウトに最適、統合型セキュリティ機能を提供

ファイアウォールやセキュアWebゲートウェイ、CGNAT、DDoS防御など、複数のセキュリティ機能を集約して活用できるA10 Thunder CFWは、セキュアな環境づくりに役立つ基盤として機能します。さらに、特定のアプリケーション向けに通信経路を制御することで、各種クラウドサービスへの柔軟なアクセスを可能にし、ローカルブレイクアウトを実現します。SSLの可視化やURLフィルタリングなどの機能で利用者の環境を保護しながら、キャリアグレードのアプライアンスによる高いパフォーマンスを発揮し、生産性の最大化に貢献します。

## 導入効果：自治体環境をガラパゴス化させない環境整備にA10 Thunder CFWが貢献

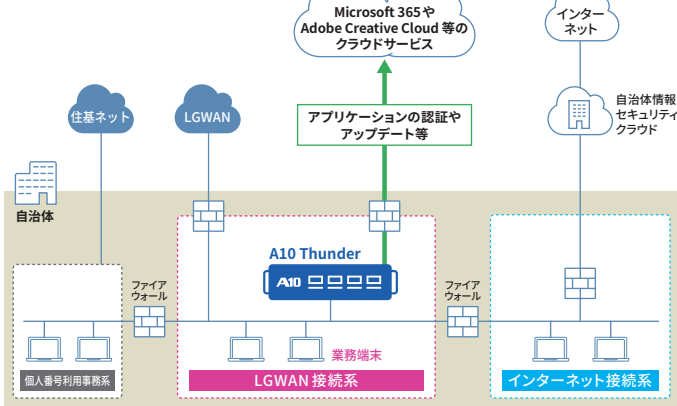
現在、三層分離の庁内ネットワーク環境に冗長化構成でA10 Thunder CFWを設置し、ZoomやAdobe Creative Cloudをはじめとしたクラウドサービスを利用する職員がローカルブレイクアウトを行っています。これにより、実質的なα'モデル環境が整備され、震災後に駆けつけた100名超の応援職員を含め、500名以上がネットワークを活用しています。なお、A10 Thunder CFWの運用は、安定的な運用を目指して外部にBPOを行っています。山吹氏が極力介在しない運用を心がけることで、属人化を防ぎながら持続可能なシステム運営を実現しています。

A10 Thunder CFWによるローカルブレイクアウトで、Windowsのライセンス認証やAdobe利用時の認証にかかっていた手間が大幅に削減されました。デザイン制作においてもAdobe Creative Cloudの素材を柔軟に利用でき、従来のダウンロードしてUSB経由で素材を取り出す手間もなくなったと山吹氏は語ります。また、WSUSが非推奨となったことから、WindowsのアップデートもA10 Thunder CFWのローカルブレイクアウト経由で実施しています。

震災復興に向けて応援職員が多く支援に入中、業務に必要なPCなどのデバイスが急増しましたが、ここでもローカルブレイクアウト環境が役立ちました。「端末の多くは企業から寄贈いただきましたが、業務に必要なMicrosoft Officeは個別契約が必要でした。そこで契約形態をサブスクリプションに変更し、ローカルブレイクアウト環境から迅速にライセンス認証やアップデートを実施しました。環境変化への柔軟な対応がA10 Thunder CFWによって実現しています」と山吹氏は評価します。

被災直後、LGWAN接続系ネットワーク網が物理的に切断され通信不能となりましたが、一部フレッツ網だけは無事だったことで、急遽インターネット接続が可能な端末を使い、石川県や周辺との連絡を継続できました。「A10 Thunder CFWが稼働したのは被災後ですが、事業継続の観点からも、LGWANからインターネット

輪島市の導入イメージ図



網にブレイクアウトできる環境の重要性を強く認識しました。日々の業務を円滑にするだけでなく、万一の対策としてもA10 Thunder CFWによるローカルブレイクアウトが有効だと改めて気づかされました」と山吹氏は振り返ります。

DXを強力に推し進める立場の山吹氏が強く願うのは、自治体の環境をガラパゴス化させたくないという思いです。「パブリッククラウドの情報は世の中に溢れていますが、自治体の環境はインテグレーターに問い合わせざるを得ず、汎用サービスの利用に比べてタイムラグが発生しがちです。社会の一部としてきちんと機能する持続可能な環境を整備することで、自治体の選択肢も広がると考えています」と力説します。その意味でも、クラウドサービスの利用はこれまで以上に拡大させたいと考えており、セキュアなαモデルを堅持しながらクラウドサービスを柔軟に活用できるA10を高く評価しています。

すでに石川県ではβ'モデルへ移行しており、輪島市も現状のα'モデルから新モデルへ移行する可能性があります。「いずれβ'モデルに移行した場合でも、LGWAN端末からクラウドサービスを利用する用途は出てくるはずで、環境が変わってもA10が活躍する場面は多いでしょう」と山吹氏は語ります。

## 今後の展開：クラウドをフル活用、職員のみならず住民サービスの向上にも繋げたい

今後は、庁舎内で運用しているファイルサーバーや原課に点在するNASを刷新し、クラウドストレージへの移行を検討しています。「特定のクラウドストレージを念頭に、IP制限をかけたうえでローカルブレイクアウトしてアクセスできる環境づくりを考えています。いずれは共有サーバー自体をなくしていきたい」と山吹氏は語ります。将来的にMicrosoft 365 E3契約などが実現すれば、EDRなどMicrosoft Defenderのオプション機能も活用し、コストを抑えながらクラウドサービスをフル活用していきたいと意欲を示します。

また、Microsoft TeamsやZoomを活用し、保守事業者との円滑なコミュニケーションに加え、震災復興に関わる事業や住民向けの支援にも利用していきたいと語ります。「申請方法がわからないという問い合わせがあれば、電話よりも画面共有で説明したほうがわかりやすい。庁舎までお越しいただかなくても、住民の皆さまを手厚く支援できる環境を整備できるはずで、A10 Thunder CFWによるローカルブレイクアウトで、庁舎内の業務だけでなく、住民向けのサービスにも新たな展開が期待できます」と今後について山吹氏に語っていただきました。

## ■ A10 Networks / A10 ネットワークス株式会社について

A10 Networksは、オンプレミス、ハイブリッドクラウド、エッジクラウド環境における、セキュリティ、インフラストラクチャの課題を解決するソリューションを提供しています。大手グローバル企業や通信、クラウド、Webサービス事業者まで7000社以上のお客様に導入いただいており、ビジネスに不可欠なアプリケーションやネットワークの安全性、可用性、効率性を高めています。A10 ネットワークスは2004年に設立されました。米国カリフォルニア州サンノゼに本社を置き、世界中のお客様にサービスを提供しています。A10 ネットワークス株式会社はA10 Networksの日本子会社であり、お客様の意見や要望を積極的に取り入れ、革新的なアプリケーションネットワークングソリューションをご提供することを使命としています。詳しくはホームページをご覧ください。

- URL : <https://www.a10networks.co.jp/>
- X (旧 Twitter) : <https://twitter.com/a10networksjp>
- Facebook : <https://www.facebook.com/A10networksjapan>

記載された内容は2025年12月時点の情報です。



# 輪島市

## Learn More

About A10 Networks

お問い合わせ

[A10networks.co.jp/contact](https://a10networks.co.jp/contact)

## A10ネットワークス株式会社

[www.a10networks.co.jp](https://www.a10networks.co.jp)

©2025 A10 Networks, Inc. All rights reserved. A10 ロゴ、A10 Networksは米国およびその他の各国におけるA10 Networks, Inc. の商標または登録商標です。その他上記全ての商品およびサービスの名称はそれら各社の商標です。A10 Networks は本書の誤りに関して責任を負いません。A10 Networks は、予告なく本書を変更、修正、補遺、および改訂する権利を留保します。製品の仕様や機能は、変更する場合がございますので、ご注意ください。商標について詳しくはホームページをご覧ください。 [www.a10networks.com/a10-trademarks](https://www.a10networks.com/a10-trademarks) Part Number: A10-CS-WajimaCity-02 DEC 2025



# ふるさと納税で 輪島を応援

輪島塗の匠の技が光る器、海と里山にはぐくまれた  
輪島のワイン、新鮮な海産物など、  
輪島には多彩な魅力ある品々があります。  
能登と輪島の復興、  
そして新たな未来を共に支えませんか。



ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



“がんばる輪島”  
応援寄附金  
(ふるさと納税)

写真はイメージです。一部取扱いのない商品もございます。



風と豊かな土壌が育むブドウから生まれる、  
食卓を彩る上質な輪島ワイン



輪島の地の粉と布着せによる堅牢な下地に、  
艶やかな漆と沈金・蒔絵が映える高級漆器、輪島塗



日本海の荒波にもまれた脂ののった魚介が魅力の、  
旨み豊かな輪島の海産物

